

～人と環境の三木北高校～

【本年度の教育方針】

「立志・自学・自律・共生」の理念を基軸に、知・徳・体の調和のとれた生徒を育成する。

三木市、大学、企業との連携を活用し体験研究活動に主体的に取り組み、自ら考え行動できる共生社会のリーダーを育成する。

【本年度の重点目標】

1 人と環境の教育

(1) 環境教育

- ・ゴーヤカーテン、エコキャップ運動、ユニクロ服の力、SDGs推進活動、校内ゴミの分別・削減緑が丘駅前清掃等ボランティア活動など

(2) 地域連携教育

- ・三木市、兵庫県立大学、ダイワハウス等と連携した教育活動、地域行事、夏祭り等への企画からの参加、のじぎく特別支援学校との交流及び共同学習、保育園・幼稚園・小中学校との交流、宮城県志津川高校との交流、ボランティア活動など

(3) 国際理解教育

- ・学校・生徒間での学校交流(スカイプを活用したオーストラリア ドローイン セカンダリーカレッジ等との交流)、地域在住外国人との交流など

2 主体性・多様性・協働性の育成

- (1) 三木市、大学、企業との連携を活用し、年間5日以上の実験研究活動かボランティア活動を生徒全員が実施、成果を発表する。

- (2) 読んだり、聞いたりした事をまとめ、それを基に他と協議し、自分の意見を発表する力を育成する。

- (3) 図書館に生徒作品、行事資料等を保存、ネットに接続できるタブレットを配置、兵庫県立図書館学校サポートプロジェクト等を活用して蔵書不足を補填し、図書館を情報収集センターとする。

3 教職員の資質の向上

- (1) 校外研修参加と今できる最高の研究授業実施を、それぞれ年1回以上。

- (2) 生徒の目標進路先を把握し、そのAO、推薦、一般入試問題を研究し指導する。

- (3) 教材、考查問題、指導案、報告書等をフォルダで共有し、教材研究の深化と業務効率化を図る。

- (4) 教科指導や生徒指導に関する学究的な情報交換の場としての職員室文化の醸成。

4 働きやすい職場環境づくり

- (1) 学校の課題に対する組織的な取り組み

- (2) 勤務時間の適正化の推進

- (3) 服務規律の確保